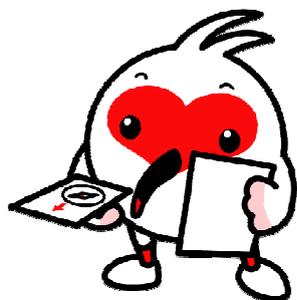


2009年10月4日 トキめき新潟国体デモスポ大会（新潟県五泉市）

当日は好天に恵まれ、当日参加者も予想を上回り大盛況となりました。



トキめき新潟国体マスコットキャラクター「とっぴー」

■子どもたちに大好評！その名も「クイックO」■

競技を終えてから閉会式までの空き時間を利用して、会場の愛宕中学校体育館脇の駐車場でミニイベントを実施しました。これは今年の世界選手権の会場で行われていた「スポーツラビリンス」をアレンジしたもので、後日「クイックオリエンテーリング」（クイックO）と呼ぶ事にしました。

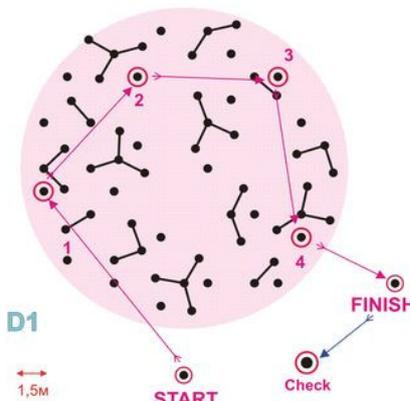
クイックOのテレインは至って単純で、写真のユニット受けを20個用意し、5個ずつ横4列に等間隔で並べただけです。そしてこのうち10カ所にemitのユニットを設置しました。

子どもたちへの説明は「今いる所は△の所。番号順にまわる。○印のところにオレンジのユニットがある。ユニットにカードをはめて赤ランプが点いたらOK。全部まわったら戻ってくる。」この程度で済みます。

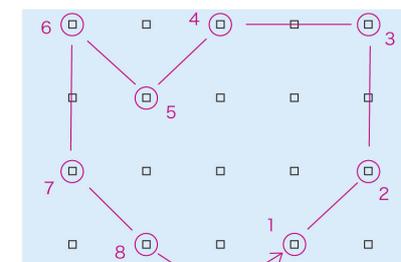
1人目が廻りはじめたらしめたもので、続々と子どもたちが「なに？なに？」とテーブルにやってきます。レベル1を終えた子はすぐレベル2の地図を欲しがり、またレベル4まで終わってしまったら今度は地図無しでレベル1に挑戦する子まで現れました。下は幼稚園児から上は中2生まで、子どもたちの能力の高さには本当に驚かされたとともに、日本のオリエンテーリングの未来が見えたかと確信しました。

このクイックOのもう1つの側面として、「屋内でもできる」という事があげられます。うちのクラブでも、冬期間のオリエンテーリング練習として定期的に取り入れてみようと考えています。

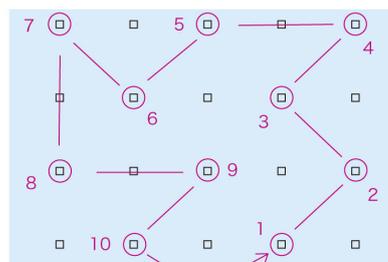
“Sport Labyrinth”



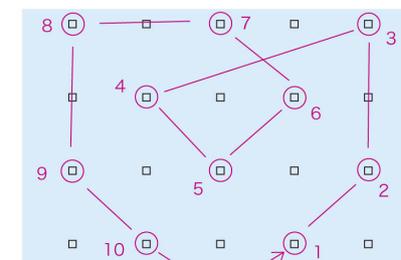
左：スポーツラビリンスのマップ
右：コーンと柵で作られたスポーツラビリンスのテレイン



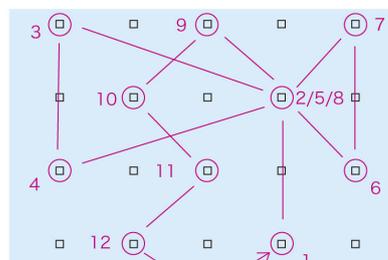
レベル1 フィニッシュ スタート



レベル2 フィニッシュ スタート



レベル3 フィニッシュ スタート



レベル4 フィニッシュ スタート

上左：今回使用したユニット受け（白い物）とユニット
上右：クイックOの様子
下：クイックOのマップ。スポーツラビリンスに倣い4レベルを用意した。マップはラミネート加工し、使い回す。

■世界のオリエンテーリングもPR■

「せっかく新潟大生が日本代表になったり、トレイルOでメダル取ったりしているから、それをPRしてはどうだろう？」というある役員の方の発案で、今年の JWOC 日本代表の立川悠平くん（新潟大2年）と WTOC で銅メダルを獲得した木村治雄さんを紹介する壁新聞を作成し、体育館内に貼り出しました。参加した地元の女子中学生からは「日本代表で新潟大って、スポーツができて頭もいいんでしょ？カッコいいね～！すごいね～！」という声が聞かれました。効果はあったようです。

■「初心者説明」の難しさ■

筆者のもう1つの担当が「初心者説明」でした。限られた時間の中で一度に多くの方を相手に教えなければならぬスケジュールでしたので、「何を教える必要があるのか？」を事前に十分に検討しました。

中でもやはり避けて通れないのが、登山愛好家向けの読図講習会と同様「整置」です。これは分からない方に手を挙げてもらって、一緒に手順を確認しながら指導しました。

初心者にはコンパスの不要な簡単なコースから始めるか、必要な場合はマンツーマンで指導してから廻らせるべきだ…というのが私の考えです。大会における初心者クラスのあり方については、普及に有効なのかどうかという観点からも見直しや議論の必要があると思っています。



初心者説明を行う藤島（樽澤亘撮影）

■立川が上級クラス制す■

今大会は締切が7月末日と早かった事もあり、上級クラスは新潟大学生の勝負の場となりました。

男子上級で優勝したのは、やはり立川悠平くん。「愛宕山を走るの初めて。やぶくて最初は迷った所もあったが、トレインになじんでからは力を出せた」と、若干苦しそうな表情を見せつつも笑顔で話してくれました。

世界のオリエンテーリング2009

ジュニア世界オリエンテーリング選手権大会
2009年7月4～12日 イタリア

世界トレイル・オリエンテーリング選手権大会
2009年8月18～24日 ハンガリー

日本代表選手
立川悠平
新潟大学2年
上越市柿崎区出身



日本代表選手
木村治雄
人間市OLC
埼玉県狭山市出身



新潟大から3年連続の日本代表選出！

立川選手のコメント「海外でのオリエンテーリングはコースの質、レベルともに高く結果を出すことはできませんでした。それでも私自身にとって価値のある遠征でした。あまりこれまでオリエンテーリングになじみがなかった皆さんも、結果だけでなくこのスポーツそのものを楽しんでもらえたらと思います！」



第2回アジアオリエンテーリング選手権大会・日本開催！

開催地：愛知県新城市・岐阜県中津川市 会期：2010年4月30日～5月5日

4年ぶり2度目の銅メダル獲得！

トレイル・オリエンテーリングとは、いかに地図と地形を正確に読み取る事が出来るかを競う種目で、車イスの人とそうでない人が同じルールで競えるパラオリエンテーリングです。日本は2004年の第1回大会から毎年出場しており、今回は2005年以来2度目のメダル獲得となりました。新潟からは藤島由宇（三菜OLC・写真後列右）がマネージャーとして同行しました。



作成した壁新聞。1m程度の幅に拡大して掲示した。



男子上級クラスの表彰式。左から齋藤弘くん（3位）、宗形俊くん（2位）、立川悠平くん（1位）

■来年は「ゆめ半島千葉国体」■



ゆめ半島千葉国体マスコットキャラクター「チーバくん」（犬ではありません）

来年は「ゆめ半島千葉国体」が2010年9月25日（土）～10月5日（火）の

会期で開催されます。オリエンテーリングも今年に引き続き「デモスポ行事」として山武（さんむ）市にて行われる予定です。千葉での成功を新潟からもお祈りしたいと思います。

閉会式では目黒正文新潟県協会会長が「これを機に新潟県でオリエンテーリングの輪がより広がることを期待したい」と挨拶されました。この輪が広がるかどうかは、我々オリエンティアの常日頃の活動に懸かっていると思えてなりません。大会を開く、あるいは大会に出る以外の活動の充実が求められていると感じるものです。

（藤島由宇）